

6 木曾地域

<地域の環境特性>

- ・ 県立自然公園に指定されている、西部の御嶽山と東部の木曾駒ヶ岳を主峰とする中央アルプス一帯に囲まれた木曾地域は、開田高原・木曾駒高原のほか、水木沢天然林・赤沢自然休養林、阿寺溪谷・柿其溪谷など、多くの自然に恵まれた緑豊かな地域です。
- ・ 地形は急峻で変化に富んでおり、地域面積の93%を森林が占めています。年間降水量は、南部・西部で2,000mmを上回り、御嶽山では3,000mmを超えています。
- ・ 旧中山道に沿って福島関所や妻籠宿などの歴史的文化遺産が地域の人々の生活の中で継承され、自然と調和した景観を形成しています。
- ・ 木曾川源流地域として中京方面に飲料水、農業・工業用水を供給するほか、水力発電により、中京・関西方面へ電力供給するなど、重要な役割を担っています。
- ・ 空気が澄み、夜空の美しい利点を活かして、学術研究機関による天体観測が行われています。



御嶽山（田の原天然公園）

<実施施策>

(1) 水と緑のふるさと・木曾の豊かな環境の保全

- ・ 水源地域として中京圏など木曾川下流域との交流を通じて、ともに森林と水源に関する理解を深め、「水と緑のふるさと」にふさわしい豊かな環境の保全に取り組みます。
- ・ 植樹・下刈り・間伐等の森林整備を行い、二酸化炭素の吸収、水源の涵養など森林の公益的機能の増進を図ります。
- ・ 特定外来生物駆除の啓発をするとともに、草刈りなどによる水辺景観の保全に取り組みます。
- ・ 公共下水道などによる生活排水の適正な処理を進めるとともに、下水道などの処理が困難な地域については浄化槽の整備を推進します。



上下流交流事業（植樹作業、木曾町）



小水力発電推進シンポジウム（上松町）

(2) 自然と共生する持続可能な山里づくり

- ・ 小水力・太陽光・木質バイオマスなどの自然資源を活用して、地域に賦存する自然エネルギーの利用を推進します。
- ・ 森林セラピー基地「赤沢自然休養林」や木曽川の源流「水木沢天然林」などを、豊かな森林資源を活かした癒しと健康づくりのモデルとして、自然とふれあう環境整備に取り組みます。
- ・ 地域住民・学校・町村などとの協働により、地域の自然環境を活かした環境学習を推進します。
- ・ 農林業における人材確保を図るほか、環境にやさしい農業の推進、野生鳥獣対策、生態系や景観に配慮した施設整備を推進します。
- ・ 関係団体や地域住民等と連携してフサヒゲルリカミキリなど、希少野生動植物の生息・生育環境の保全・回復に努めます。



あやめ池自然環境整備（木祖村）

(3) 循環型地域社会「美しい木曽」の創造

- ・ 木曽地域全町村が制定した「ポイ捨て禁止条例」に基づき、地域が一体となって環境美化に取り組み、美しいまちづくりを推進します。
- ・ ごみの分別と生ごみの堆肥化など地域全体で3 R活動の推進を図り、廃棄物による環境への負荷削減に努めます。
- ・ 「もったいない」を合い言葉に、物の価値を活かした無駄のないライフスタイルを木曽地域から発信します。



御嶽山清掃登山



なぎそねこ*（南木曽町）